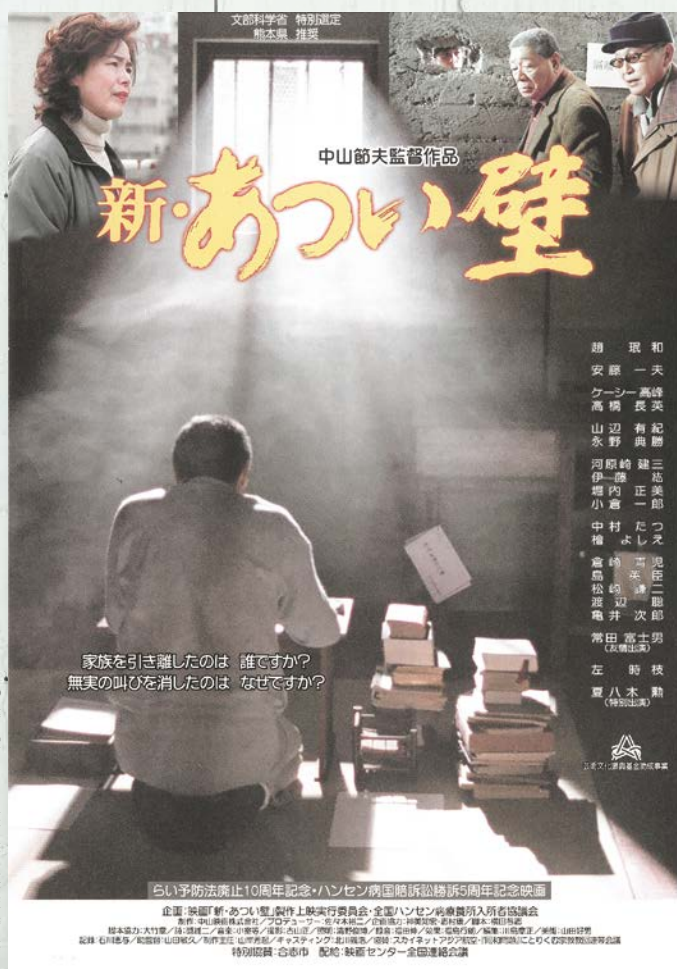


1950年代に熊本県で起きた刑事事件を題材に

ハンセン病回復者への差別と司法の不当性を描いた映画

「新・あつい壁」上映会

【同時開催】ハンセン病問題を知ろう パネル展示



映画上映会とパネル展を通じて、
ハンセン病問題を考えてみませんか？

ハンセン病問題を知っていますか？

北海道から数多くの方が本州のハンセン病療養所に
強制的に送られ、一生を過ごしました。

また道内でハンセン病の差別を恐れながら生きている
ハンセン病回復者やその家族もいらっしゃいます。

ハンセン病問題を知っていただくために、

映画「新・あつい壁」の上映会を企画しました。

映画「新・あつい壁」は、ハンセン病をめぐる差別が
問題となった刑事事件・菊池事件を題材としたものです。

上映会では、ハンセン病問題の基礎知識や

菊池事件の背景事情について弁護士による講演も予定しています。

また、上映会の会場では、ハンセン病問題を

知ることのできる、パネル展（北海道庁

保管パネル、真宗大谷派北海道教務所

作成パネルなどの展示）を行います。

参加費
無料

【事前申し込み不要】

先着 300 名

令和8年

2026.11/21 土

【場所】札幌市北区北8条西5丁目

映画上映会 北大学術交流会館2階講堂

12:30 開場

13:00-15:00 映画上映

15:15-16:00 金丸哲大弁護士による講演

パネル展 北大学術交流会館1階ホール

【展示時間】12:00~16:30

お問い合わせ 原総合法律事務所 TEL.011-272-6661

主催者：北海道のハンセン病問題に関する協議会

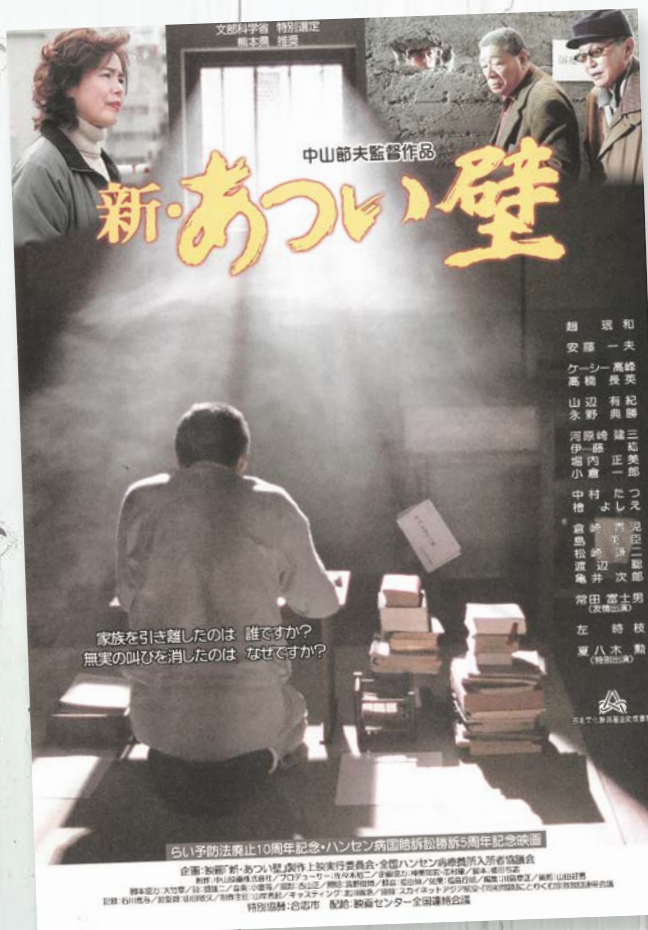
構成
団体

北海道（保健福祉部健康安全局感染症対策課）／札幌弁護士会／北海道社会福祉士会
ハンセン病回復者と北海道をむすぶ会／ハンセン病問題を考える会
ハンセン病問題と教育を考える市民の会コンパス／国民救援会北海道本部

後援：札幌法務局、札幌市、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道弁護士会連合会

この事業は、厚生労働省の委託により公益財団法人笹川保健財団が実施しています。2026年度「ハンセン病対策促進事業」の助成を受けて実施しました。





© 映画「新・あつい壁」製作上映実行委員会



映画評論家 佐藤 忠男

中山監督は1965年にテレビの番組として「ある青年の出生」というドキュメンタリーを発表している。ハンセン病の元患者の社会復帰を扱った真摯な作品であった。私は当時これを見て感銘を受けて新聞に批評を書いている。それから4年後、中山監督は郷里の熊本で自主制作の映画の第一作「あつい壁」をつくった。自主制作の映画は必ずしも珍しくはなかったが、それが地方で行われたということはあまり前例がないので、私はその製作活動そのものに注目して私が編集していた映画雑誌で記事にして東京で上映の応援などしたものだ。そして出来上がった作品に心を打たれた。ハンセン病患者の子が学校の父兄に差別されて、学校への通学を妨害される。かつて実際にあった差別と偏見の事件である。あれから40年、中山監督がたゆまず差別のありかたを映画で問いつづけていることに心から敬意を表したい。差別問題を見つめる目は変わらず澄んでおり、その視野は拡がり、深まっている。

2007年/カラー/111分/ヴィスタ・サイズ(1:1.66)/ドルビーSR/ ©映画「新・あつい壁」製作上映実行委員会・中山映画株式会社



監督 中山 節夫

ハンセン病患者を親に持つ子ども達の小学校入学拒否問題を題材にした「あつい壁」を撮ってから40年近くの時が過ぎました。今日では療養所の入所者と社会との交流も活発になりハンセン病やその療養所の存在すら知らなかった若い世代への啓発活動も広がり、療養所の内と外をめぐめる状況は随分変わりました。また、らい予防法が廃止され強制隔離政策がまらぐいであったことを国が認め謝罪もしました。

しかし、私たち一人ひとりの偏見や差別意識が払拭されることは簡単にイコールにならないということ。温泉宿泊拒否事件後の療養所自治会への陰湿な中傷や嫌がらせの事実がものごたっています。

映画「新・あつい壁」は、ハンセン病患者であることを理由に法の前の平等を踏みにじられた50年以上も前の事件を通して、それを許した当時の社会の意識が今日どのように変わったのか、そして何が変わらないのかを描きました。

講演者紹介

金丸 哲大 弁護士

東京弁護士会所属

東京三弁護士会ハンセン病問題協議会委員

札幌弁護士会に所属していた際にハンセン病家族訴訟弁護団に加入その後、菊池事件違憲国賠訴訟弁護団、菊池事件再審弁護団に加入菊池事件では憲法的再審事由を担当

現在は「ハンセン病問題に関する偏見差別解消に向けた実務者協議」で主に文部科学省との交渉を担当